

# 学校評価 教職員の結果と考察

回収率100%(15/15)

項目	1そう思う(人)	2どちらかといえばそう思う(人)	3どちらかといえばそう思わない(人)	4そう思わない(人)	達成値(%)	考察
① 学校目標を達成するための具体的な方策を実践している。	8	7	0	0	88	88%の達成値である。教職員が、学校目標を意識した実践に努めていることが分かる。 (今後の課題) 全教職員が学級経営や校務に一致団結して取り組めるよう学校目標を具体的に実践しやすいように設定し、点検や工夫改善を行っていく。
② 体験・交流活動の推進に努めている。	8	6	1	0	87	87%の達成値である。コロナ禍においても、体験・交流活動を活かした教育の重要性を認識し、工夫して授業の中に取り入れていることが分かる。 (今後の課題) コロナの状況も落ち着きつつあるため、各学年の学習内容や実態に合わせて、地域との交流の中での体験活動を取り入れていきたい。
③ 子どもの話を聴く機会を多く確保している。	10	5	0	0	92	92%の達成値である。全ての教職員が児童の考えを受け止めることの大切さを理解し、児童理解に努めていることが分かる。 (今後の課題) 業務改善を行い、児童と向き合える時間を十分確保できるように工夫していく。また、保護者との連携を深め、児童の思いを学校と家庭で共有し、さらなる児童理解に努める。
④ 生活習慣の定着に努めている。	12	3	0	0	95	95%の達成値で、全ての教職員が、積極的に基本的な生活習慣の確立に努めていることがわかる。 (今後の課題) あいさつ運動や学習や生活規律を確立していく事を通して、計画的・継続的に基本的な生活習慣の育成に努める。
⑤ 児童の実態に応じた授業に努めている。	6	8	0	0	86	86%の達成値であるが、よく分かる授業の実現に向けて努力していることが分かる。 (今後の課題) 教職員研修を充実させ、ICTの効果的な活用や個別最適な学びや協働的な学びが実現できるよう、よく分かる授業を展開できるように指導力向上に努める。
⑥ 児童の指導にやさしい良さを認めている。	9	6	0	0	90	達成値が95%であり、全ての教職員が児童のことを受容的に理解しようとしていることが分かる。 (今後の課題) 児童理解について、ポジティブな行動支援(PBS)の考え方を浸透させ、全ての教職員が受容的な児童理解を大切にして取り組むことができるようにする。
⑦ 学校のきまりや学習規律の指導に努めている。	10	5	0	0	92	達成値が92%である。全ての教職員が学校のきまりや学習規律の指導を大切を理解し、取り組んでいると考えられる。 (今後の課題) SWPBSを機能させ、学校全体で望ましい行動が進んでとれるような環境を整え、定期的に振り返り、改善することにより効果を上げていく。
⑧ 児童の様子を把握している。	5	10	0	0	83	ほとんどの教職員が、休み時間も児童の様子に気がつけていることが分かる。休み時間においても、交代で児童の見守りを行うことができている。 (今後の課題) 児童の仲間づくりの状況・安全の把握のために、役割分担しながら児童観察を行い、必要な情報を必ず関係者に伝達するようにする。
⑨ 教職員の連携・保護者・児童専門機関との連携を推進している。	8	7	0	0	88	達成値が89%である。ほとんどの教職員が、保護者や関係機関との連携の大切さを理解して取り組んでいることが分かる。 (今後の課題) 複雑な課題が山積する学校の現状を鑑み、様々な視点から児童理解を進めることが重要であることを理解し、進んで連携を図るように努める。
⑩ 児童のいじめや差別に関係づけないように努めている。	9	6	0	0	90	90%の達成値であり、全ての教職員が、いじめや差別のない学校づくりをめざして、人権教育に取り組んでいることが分かる。 (今後の課題) いじめや差別は絶対に許さない風土作りに努め、人権意識の向上を図る。人権教育を実践し思いやり溢れる学校や学級づくりに努めるとともに、いじめや差別事象等、児童の様子を把握し、適切に対応することができるようにする。



<p>めよなり⑪ てうが、一 にる、共一人 の環一人 境こ認め づとめ くが合 でうさ にきへ にきへ を努つ知</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>達成値が87%である。一人一人の個性を尊重し、一人一人のよさを認め合う環境作りができてきている。 (今後の課題) 仲間のよいところを認め合うあたたかい集団づくりに力を注ぎ、授業や活動の中で互いのよさを認め合える場面を設定する。</p>
<p>い生感⑫ る活染新 。環症型 境対コ 作策ロ 等にナ に、ウ 努安イ め全ル てなス</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>90%の達成値である。長引く新型コロナウイルス感染症の感染状況の中、学校全体で学校における新しい生活様式を共有し、感染症対策を実践してきている。 (今後の課題) コロナの状況が収まりつつある中でも、安全で衛生的な生活環境を持続できるよう柔軟な対応をしていく。</p>
<p>い食⑬ る育体 。活力 動を高 に取め る組活 ん動 でや</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>85%の達成値である。体育の時間や休み時間の運動、食育活動に、今後も留意して取り組む必要がある。 (今後の課題) 学校行事や体育的な活動において、体力の向上を図り、各教科や生活の中で食育活動を随時取り入れていけるよう計画的に取り組んでいく。</p>
<p>の⑭ ため 児童 の努 安全 な登 下校</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>88%の達成値である。家庭や地域と連携し、不審者対応等に取り組む、引率下校を行う等安全な環境作りに努めた。 (今後の課題) 集団登校や下校時の児童の状況を把握し、計画的および機会を捉えての安全指導に努める。 まちこみメール等を活用し、地域や保護者との連携を図っていく。</p>
<p>いにを⑮ る伝、学 。え保校 る護で 者よの うに児 にて童 努いの めね様 てい子</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>92%の達成値である。連絡帳や電話を中心に、できるだけその日のうちに、必要な連絡を取ることができていると推察される。 (今後の課題) 学校での児童の様子を伝える責任を認識し、常に保護者の立場に立って、分かりやすく連絡するように努める。</p>
<p>うは⑯ 努素保 め護者 て早 い対者 るから 。をの す相 す談 よに</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>93%の達成値である。保護者アンケートの達成値も82%あるが、適切に対応できていないと感じているとの回答もあった。 (今後の課題) 保護者からの相談は、児童を共に育ていく中で大変重要なことであることを認識し、真摯に受け止め迅速に適切な対応を心がけ、必要な内容については、学校全体</p>
<p>いる⑰ 。保護 健康者 と連 理に 努し めて 児</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>93%の達成値である。児童の体調に課題がある際の連絡について、適切に対応できていることが分かる。 (今後の課題) 今後も、児童の心身の状況について、保護者と相談しながら指導・支援ができるように努める。</p>
<p>と理⑱ を解課 大の題 切をも しと共 して有 働し、 いる共 。通</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>81%の達成値である。多くの教職員が同僚と保護者・専門機関と相談しながら、働くことができていると推察されるが、そうでないと感じている教職員もあり、現状の課題を分析する必要がある。 (今後の課題) 校務分掌の偏りがないかなど、一人で抱え込まず、協働体制のもと業務に当たることができるようにする。</p>
<p>いや遵⑲ る能守 。力の 向コン 上プラ に員イ に員ア 努のン め資ス て質を</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>95%の達成値である。全ての教職員が、教育公務員としての職責を自覚し、日々誠実に取り組んでいることが分かる。 (今後の課題) コンプライアンス遵守の意識を高め、継続することができるように、計画的なコンプライアンス研修を実施する。風通しのよい職場環境作りと働き方改革の推進に努める。</p>
<p>て業⑳ 務時 。効外 率勤 化務 等に 縮減 め・</p>	<p>1そう思 う(人)</p>	<p>2どちら かといえ ばそう思 う(人)</p>	<p>3どちら かといえ ばそう思 わない (人)</p>	<p>4そう思 わない (人)</p>	<p>達成値 (%)</p>		<p>88%の達成値である。時間外勤務時間の縮減について意識し取り組んでいるが、まだまだ十分とは言えない。 (今後の課題) コロナが落ち着いてきて、学校行事等を工夫して行えるようにしていく中で、教育効果を発揮できるようにするとともに、「働き方改革」の視点から、労働環境の改善を推進し、児童のより良い教育の実現ということを目標に改革を推進していく。</p>